



大田区立清水窪小学校

かしわ

清水窪小学校の教育目標

- 自然や友達を大切にする子ども
- 心身ともにたくましい子ども
- よく考え、最後までやりぬく子ども

令和3年 11月号

学芸会をとおして

校長 高木 圭一

澄んだ青空と朝晩の寒さに秋の深まりを感じます。

学校では11月26日(金)、27日(土)に開催予定の学芸会に向けて練習が始まりました。子供たちは台本から自分の演じる登場人物について想像し、その役になりきれるように台詞の言い方や表情、動作を考えています。また、グループで話し合いながら、台詞を合わせたり動きを考えたりしている姿も見られます。本番当日子供たちの活躍する姿が見られるのが今から楽しみです。

子供たちが取り組む行事には多くの教育的な意義がありますが、特に学芸会の意義は、協力することの大切さを学ぶことと日頃の学習成果の発揮です。

劇は複数の登場人物、照明、大道具等が相互に連携して進行します。そのため、演技では自分の台詞や動きだけでなく、相手役の台詞や動きも覚えて、息を合わせていく必要があります。また照明、大道具なども演技同様の連携が求められます。劇は全員の協力なくして成立しないことを子供は練習を通して実感します。

また、台本上ではほんの数行の台詞や動きであっても、前後の文脈や他者の言動から自分の演じる登場人物の心情を想像するために国語で培った読解力が生かされます。さらに読み取った心情に合わせた表情、話し方、動作を考える際にはこれまでの学習や生活経験で得た知識に基づく表現力が発揮されます。

子供たちは劇の完成を目指して努力する過程で成長していきます。ですから、当日の出来映えだけで子供を評価することはできません。自分や友達の良さを見付けている様子、自分の成長を振り返り、自己を伸ばそうとしている様子などの取組過程を認め励ますことが大切です。「昨日よりも上手に台詞を言えた」といった日々の充実感や「今日はグループの練習が上手く進まなかった」といった反省も、その子なりの貴重な学びです。この数週間、御家庭でも学芸会のお話が上ることでしょう。子供が自覚した成果を大いに認めること、そして、子供が気付かない成長を教え、自信に繋げることが、私たち大人の重要な役目であると考えます。

保護者の皆様におかれましては、家庭での練習、衣装や小道具の準備等、御協力よろしく願いいたします。また、本番当日は、子供たちの努力してきた成果や、ひとまわり成長した姿に、温かい拍手と励ましの言葉掛けをお願いいたします。

研究だより

2年生は「たねはかせになろう」という単元で、1月に研究発表を予定しています。校庭や身近な公園にある植物の種について調べたり観察したりします。ゲストティーチャーとして、種はかせの大西先生ともリモートでつないで、種についてより詳しく教えてもらったり、疑問に思っていることを質問したりする予定です。当日は、分かったことをまとめた発表会をし、コミュニケーションの力を深めていきます。

11月 学校行事予定

日	曜	行事予定	放課後
1	月	全校朝会 補習3年 児童・生徒の学力向上を図るための調査6-1	○
2	火	たてわり遊び1~7班/読書タイム8~13班 児童・生徒の学力向上を図るための調査6-2	○
3	水	文化の日	
4	木	午前授業 スキルタイム あいさつ運動始 就学時健康診断 卒業アルバム個人写真撮影6年	×
5	金	たてわり遊び8~13班/読書タイム1~7班	○
6	土	東京都教育の日	
7	日		
8	月	全校朝会 避難訓練(Jアラート) 委・代・た班長会議 補習3年	○
9	火	スキルタイム 生活科見学2年	○
10	水	午前授業 安全指導 補習456年 大田区小中一貫教育の会	○
11	木	学級の時間 学校生活調査456年 がん教育6-2	○
12	金	読書タイム がん教育6-1 あいさつ運動終	○
13	土		
14	日		
15	月	全校朝会 クラブ活動 SC科ゲストティーチャー5年 児童・生徒の学力向上を図るための調査5-2 落ち葉掃き始 補習3年	○
16	火	開校記念集会 児童・生徒の学力向上を図るための調査5-1	○
17	水	スキルタイム SC見学5年 補習46年	○
18	木	学級の時間 社会科見学6年	○
19	金	B時程 読み聞かせ 町たんけん2年	○
20	土		
21	日		
22	月	全校朝会 補習3年	○
23	火	勤労感謝の日	
24	水	午前授業 補習456年 体育朝会(長縄)1年・1組/学級の時間2年・2組	○
25	木	体育朝会(長縄)2年・2組/学級の時間1年・1組 学芸会リハーサル	○
26	金	学芸会(児童鑑賞日)	○
27	土	学芸会(保護者鑑賞日)	×
28	日		
29	月	振替休業日	
30	火	B時程 全校朝会 大森第六中学校体験6年	○

◆郵便局振込み

今月は給食費の引き落としが、11月12日(金)にありますので、11日(木)までに御入金をお願いいたします。

11月の生活目標

「言葉づかいに気をつけましょう」

生活指導部 吉岡 興喜

寒い日も続くようになり、子供たちの服装の変化が、季節の移り変わりを感じさせてくれます。

11月はあいさつ運動があります。「おはようございます」は、一日の始まりに使う大切なコミュニケーションの言葉です。毎日のあいさつをきちんと行うためにも、以下の項目を指導して参ります。

- 正しい姿勢で話を聞く
- 言葉づかいに気を付ける
- 声の大きさに気を付けて話す

児童たちの元気な挨拶が溢れる清水窪小学校を目指して、指導をしていきます。

学芸会

学芸会委員長 山田 智子

11月26日(金)児童鑑賞日・27日(土)保護者鑑賞日に学芸会が行われます。新型コロナウイルス感染症防止対策のため色々な制限がある中、子供一人一人がのびのびと演じることができるよう、演技方法や子供たちの配置など演出に工夫を凝らしながら練習を進めています。子供たちは、観客に登場人物の気持ちや劇のテーマを伝えられるのかを真剣に考えて台本を読み込んで取り組んでいます。お互いの良さを認め合い、学年で一丸となって劇を作りあげていきます。笑いあり、涙あり、歌ありの感動の舞台をお楽しみください。コロナ禍で色々な制約がありますが、皆様の御来校を心よりお待ちしております。

道徳地区公開講座を行いました

道徳主任 寿山 侑子

東京都では、学校、家庭及び地域社会が連携して子供たちの豊かな心を育むとともに、小・中学校等における道徳教育の充実を図ることを目的として、全校で道徳授業地区公開講座を実施しています。今年度も清水窪小学校では、10月9日(土)に、道徳授業地区公開講座を実施し、地域教育連絡協議会の方々が各クラスを参観しました。「視覚的に自分の気持ちが表せていて分かりやすい。」「タブレットPCを使っているため、発言していない子の気持ちも知ることができる。」などの御意見をいただきました。

薬物乱用防止教室を行いました

養護教諭 太田 百香

10月19日(火)に学校薬剤師の築野先生をお招きし、6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。薬の正しい使い方やタバコの害などについてのお話をいただく中で、6年生は質問をしたり、メモを取ったりしながら真剣に聞いていました。また、薬物が体に及ぼす影響を知るとともに、誘われた場合には、強い気持ちをもって断ることの大切さを改めて学びました。

全校遠足

特別活動部 寿山 侑子

10月15日(金)に全校遠足を行いました。今年度も新型コロナウイルス感染症防止対策の為、たてわり班を前半と後半の2つに分けて、歩いて行くことのできる洗足池公園と清水窪小学校の2か所に分かれて実施しました。洗足池公園では、6年生が企画したゲームをたてわり班で遊びました。学校では、たてわり班で遊んだりクラスの友達と遊んだりしました。午前中いっぱい遊んだ子供たちは、満足そうな表情をしていました。

6年生の他学年を楽しませようとする姿や率先して低学年の面倒を見る姿など、一人一人がリーダーとして活躍する姿が見られました。

生活科見学で洗足池公園に行きました

1年担任 大箸 毅

10月6日(水)に、生活科見学で、洗足池公園へ「秋」を見付けに行きました。まずは、桜山でどんぐり拾いをしました。その後、班ごとに力を合わせて、公園を散策し、あきさがしビンゴをしました。赤や黄色に色づいた落ち葉を拾ったり、ススキやイチョウ、秋の虫などを見付けたりすることができました。その後、クラスごとに公園で遊びました。みんなで楽しく遊具で遊んだり、どんぐりや松ぼっくりを見付けたりして、秋を満喫することができました。今後は、拾ってきたどんぐりで、どんぐりごまを作って遊んだり、楽器やおもちゃを作ったりして、お店屋さんごっこをする予定です。

セーフティ教室を行いました

生活指導部 池崎 貴之

10月13日(水)に1、3、5年生はALSOKの方をお招きして、セーフティ教室を行いました。

1年生は「不審者対応(外にいるとき)」についてお話を聞き、「いかのおすし(行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる)」の確認や色々な人の写真から不審者を見付ける活動をしました。多くの児童が、笑顔で優しい雰囲気の人々の写真からは、良い人という印象をもちました。しかし、「心の中は見えないから分からないよ。」と教えていただくと、驚きとともに納得していました。3年生は、「不審者対応(家にいるとき)」について、「いいゆだな(家の鍵を見せない・家の周りをよく見る・郵便ポストをチェック・誰もいなくてもただいまを言う・中に入ってすぐ戸締り)」を合言葉に、家にいるときに気を付けることについて、ロールプレイをしながら学びました。5年生は、「心肺蘇生」について、救急車の呼び方や心肺蘇生を行うときのヘルプの出し方、胸骨圧迫の方法について、ロールプレイをしながら学びました。率直な感想として「疲れた」「大変だった」と思ったようです。その中でも、「大切な人が倒れたと思って練習してみよう。」と声を掛けていただき、やり遂げる姿が見られました。どの学年も興味をもって真剣に話を聞いていました。